

大牟田市
第2次環境基本計画
2012～2021



平成24年3月

大牟田市

はじめに

大牟田市は、かつて我が国最大の出炭量を誇る三井三池炭鉱を擁し、石炭産業の興隆とともに、石炭、石炭化学、機械工業、非鉄金属を基幹産業として発展してきました。

一方、その発展過程においては、工場・事業場からのばい煙による大気汚染や、工場排水などによる水質汚濁といった公害問題が生じ、3,000人を超える呼吸器疾患などの健康被害者を出す深刻な状況となりました。

このような状況でありましたが、本市では、市民、事業者、行政それぞれが環境問題に取り組むことにより、公害を克服することができました。

さて、今日の環境問題は、地球の温暖化やオゾン層の破壊による紫外線の影響あるいは資源・エネルギーの枯渇など地球規模で解決すべきものから、私たちの日常生活から出るごみや生活排水、車による排出ガスの問題など多岐に渡っております。

これらの問題の解決には、私たち一人ひとりが、それぞれの得意分野における発想や工夫を発揮して、互いに協働し、自主的・積極的に、良好な環境の保全及び創造を進めていく社会づくりが必要です。

このような中、本市の「大牟田市総合計画 2006～2015」が描く「いこい、やすらぐ安心都市」「活力と創意にあふれる産業都市」「市民と歩む自立都市」の3つの都市像を環境面から捉え直し、目指す環境像を「発想、そして工夫 みんなで創る環境都市、おおむた」とする「大牟田市第2次環境基本計画」を策定しました。

この基本計画は、環境の世紀と言われる21世紀の本市の環境づくりに当たり、市としての環境に対する基本的なあり方、考え方等を皆様に明らかにするとともに、市民、市民活動団体、事業者、さらに行政がそれぞれの立場で主体的に参加し、取り組み、行動するためのみちしるべとなる総合的な計画であります。

今後、この基本計画に掲げております「発想、そして工夫、みんなで創る環境都市、おおむた」を実現するため、市民の皆様との強力なパートナーシップを築き上げ、地球環境にも貢献できるような美しく快適な環境都市おおむたを創造していくとともに、それを将来の世代へ引き継いでいけるよう全力を傾注してまいります。

最後になりましたが、計画策定に当たり、熱心にご審議いただきました環境審議会の皆様をはじめ、市民・事業者意識調査やパブリックコメントなどを通じて貴重なご意見・ご提言をお寄せいただいた市民の皆様並びに関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

平成24年3月

大牟田市長 **古賀 道雄**



もくじ

第1章 大牟田市第2次環境基本計画とは

-1. 計画改訂の背景	2
1.大牟田市の現状	2
2.大牟田市環境基本計画について	3
3.計画の改訂にあたって	4
-2. 計画策定の目的	5
-3. 計画の基本的事項	6
1.計画の位置付け	6
2.計画の対象期間	6
3.計画の対象地域	7
4.計画の対象範囲	7
5.計画の構成	8

第2章 大牟田市がめざす環境の将来像

-1. 大牟田市のめざす環境像	10
1.めざす環境像	10
2.基本方針	12
3.実現にむけたそれぞれの役割	13

第3章 施策体系と数値目標

-1 基本方針と施策の柱	16
-2 みちしるべの設定	18
1. 「安全で安心な社会」 へのみちしるべ	18
2. 「低炭素社会」 へのみちしるべ	19
3. 「循環型社会」 へのみちしるべ	19
4. 「自然共生社会」 へのみちしるべ	19
5. 「みんなで創る環境都市」 へのみちしるべ	19

第4章 施策の展開 ～おおむたエコビジョン 2012～

-1 基本方針1；安全で安心な社会の実現	22
1.大気環境の保全	22
2.水環境の保全	24
3.騒音・振動及び悪臭対策	26
4.化学物質への対応	28
-2 基本方針2；低炭素社会の実現	30
1.地球温暖化対策	30
-3 基本方針3；循環型社会の実現	32
1.リサイクルの推進と廃棄物対策	32
-4 基本方針4；自然共生社会の実現	34
1.緑地・里山の保全	34
2.水辺の保全	36
3.生態系の保全	38
-5 基本方針5；みんなで創る環境都市の実現	40
1.景観の保全	40
2.歴史・文化遺産の保護	42
3.環境保全活動の輪づくり	44

第5章 計画の推進に向けて

-1 計画を進めるために…	48
1.計画の推進体制	48
2.計画の進行管理	49